



Interview with

# IKEDA

## hagurumaseisakusyo

### DATA

会社概要

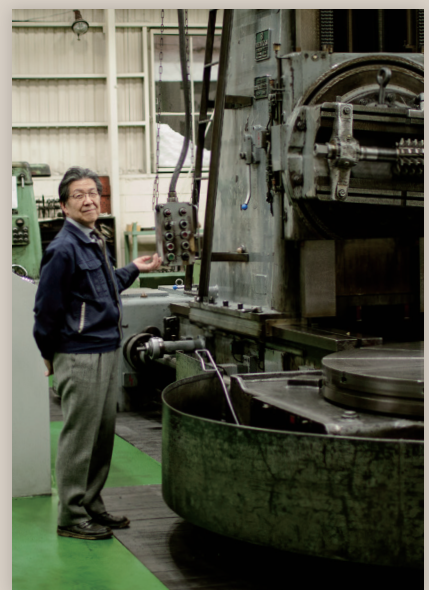
創 業\_1938年6月

設 立\_1954年1月

資本金\_2,000万円

従業員数\_48名

事業内容\_発電・製紙関連の伝導装置・増減速機等の歯車製造



池田 宗司 専務

「当社には売るものがありません」。歯車に特化したものづくりを手がける池田歯車製作所の池田鐵雄社長は、さらりと言う。完全受注生産のため、あらかじめ用意して売る品はない—という意味で、あらゆる産業分野の企業が困った際の頼もしい「助っ人役」を任じる。

減速機や等速機、増速機などの伝動装置や高精度の各種歯車、一般産業機械の設計・製造から組み立てまで幅広くサービスを提供。創業時は製紙、石炭、造船、製糖など 24 時間稼働の工場向けに対応してきたが、徐々に幅を広げ、現在は関東地区の大手の輸出物件の伝動装置やその関連部品の製作が主力という。この業界で一貫生産体制をとっているのは、東北以北では同社だけで、国内だけでなく海外からも受注している。

社内の生産体制は 30 年も前からコンピュータを導入しており、「納期を守る」「安価なものづくり」を目指し、事業を展開してきた。圧巻なのは、その設備の充実ぶりだ。各種工作機械を実に 100 台以上も保有している。「工場の作業員が 30～40 人で、機械がこの数ですからね。ただ、年に 1 回しか使わなくても、なければ困るお客様もいるのです」。

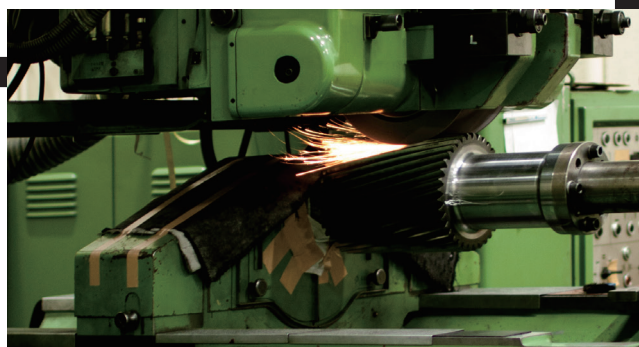
そんな同社に対する信頼は厚く、さまざまな依頼が舞い込む。たとえば火力発電向けの石炭を粉砕する装置の修理。装置自体が大きいので、建屋の外に持ち出すことはできず、現地へ出向いて対応した。「そういう難しい仕事が多いです。一方で、自転車の歯車がおかしいと相談に来たお客さんも。無碍にお断りするわけにもいかず直しましたよ」と池田社長は苦笑する。現代には珍しく、自社のホームページは持っていない。理由は「顔の見えるお付き合いがしたいから」という。「設計変更のオーダーにも融通を利かせて対応します。お客様に感謝されますよ。それが何より嬉しいですね」。歯車のように顧客とぴったり噛み合う関係をつくり、技術で貢献する。

株式会社 池田歯車製作所 代表取締役 池田 鐵雄

## 人材育成に関して

新卒・中途採用とも入社後は約 3 か月間、社内での勉強会を通じて歯車関係の専門知識をみっちり学ぶ。その後は、OJT や外部研修、外部講師による社内研修を受け、知識と技術に磨きをかけていく。「扱う機械も日々進化しており、常に勉強が欠かせません。今後は道内だけでなく、必要とあれば関東や関西へも研修に行かせたい」と池田社長は語る。

会社として求める人物像は、やはり、ものづくりが好きな人。「最新の機械が入れば、『触ってみたい』『この機械でこんなものがつくりたい』と目を輝かせる人が理想。それさえあれば、いくらでも成長できる会社です」。



## THE TECHNOLOGY

〒063-0833 札幌市西区発寒 13 条 12 丁目 4-45  
TEL 011-661-8171  
FAX 011-665-0631  
kk.ikeha@h7.dion.ne.jp